



東の大地

あきる野市立東中学校
学校だより第4号
学校経営支援部 広報担当
令和5年7月14日(金)

いじめ撲滅三原則「するを許さず」「されるを責めず」「いじめに第三者なし」

50周年記念式典

7月7日(金)、開校50周年記念式典を挙行了しました。当日は、あきる野市長 中嶋博幸様、あきる野市議会議員 村野栄一様、あきる野市教育委員会教育長 丹治充様をはじめ、約80名のご来賓の皆様にご臨席を賜り、厳粛に記念式典を実施することができました。今日の東中があるのは、あきる野市教育委員会をはじめ、明日のあきる野市を担う子どもたちの教育に格別の思いをよせてくださっている地域の皆様の温かいご支援、ご協力の賜と思っております。さらには、素晴らしい教育実践のもと、揺るぎない歴史を築いていただきました歴代校長、教職員、歴代PTA会長、PTA関係者、自治会をはじめとする地域活動関係者、そしてすべての保護者、卒業生のおかげであり、深い敬意と感謝を申し上げます。



それに先立ち7月6日(木)2・3年生、7組は体育館、1年生は各教室でのリモートにより生徒対象の式典を実施しました。



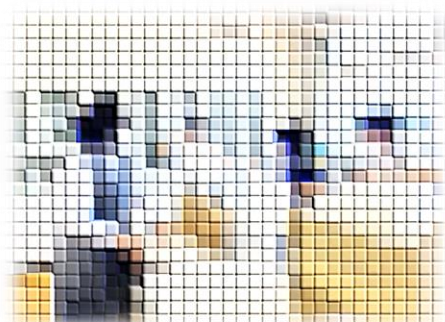
(生徒会長のことばから抜粋)

東中学校のよいところは「あいさつと自主性」であると思います。行事の中でも生徒主体となり、活動しています。そんな中で50周年という節目を迎え、改めて東中学校で生活することの喜びと責任を感じます。めまぐるしく変化する現代社会を生きる私たちは、先輩方が守ってきて下さった伝統を引き継ぐだけでなく、新たな伝統を造っていく必要があると感じました。

東中学校が目指す生徒像を知っていますか。それは「いつでもどこでも通用する生徒」です。いつでもどこでも通用するとはどういうことでしょうか。今後一年かけて全校生徒で考え、行動目標を立てたいと思います。そして立てた目標を元に行動し、それを60周年まで引き継いでいきたいと思っています。

7組の作業学習

7組では今年度から『作業学習』という授業が週に一度行われています。学習は4つのコース(事務コース・園芸コース・清掃コース・福祉コース)に分かれて作業活動を行います。活動を通して働く楽しさや必要な力を身に着けることが目的です。先日の作業学習では、事務コースの生徒たちが、50周年式典の来賓にお配りする資料や記念品の封入をしてくれました。少ない人数で200部作ってくれました。7組事務コースの皆さん、ありがとうございました。(今回の学校だよりの印刷も7組事務コースが行ってくれました。)



「つらくても相談なんてできないよ」13歳 僕の叫び

「学校に行きたくない」13歳の僕は、毎日毎日そう思っていたけれど、口には出せなかった。僕の心は「相談なんかしたら負け」という気持ちに縛られていた。僕は家に帰ると、できる限り「普通の中学生」を演じていた。両親は勉強に厳しかった。特に父からは、夕食のたびに「将来役に立つから、勉強しなさい」と繰り返し言われた。「勉強したくない」とか「学校に行きたくない」なんて言えなかった。逆にどんどん「勉強しなきゃいけない」「学校に行かなきゃいけない」、あらゆることをちゃんとできないといけないと思っていた。だからこそ「誰かに悩みを相談する」なんてことは、僕にとって、最も恥ずかしいことだった。相談することは、ちゃんとできない自分を認めることになる。両親も認めてくれないだろうし、僕自身が許せなかった。「悩んで相談するなんて、弱いやつのもので、負けだ」そう思っていた。

でも、やがて「普通の中学生」を演じることができなくなった。心が悲鳴を上げ始めたのだ。心がモヤモヤして、イライラして、どうしようもなくなり、僕は暴れるようになった。家のドアや壁を殴って、何力所も穴をあけた。痛かったけれど、そうする以外、どうすればいいのかわからなかったのだ。そんな生活が続いた中学1年の終わりごろ、10代の自殺が相次いでいるといった内容のニュースを偶然、テレビで目にした。「このままだと僕も自殺するかもな」頭を壁に打ち付けて、自分を痛めつける延長線上に自殺があるのかもしれない。初めて死を身近に感じた。でも死にたいわけではない。なんとかしないと。僕にとって転機だった。それからすぐ、学校で「スクールカウンセラー」を案内するチラシが配られた。たぶん同じようなチラシは何度も配られていたんだと思う。でも「相談は負け」だと思っていた僕の目には、まったく入っていなかった。けれど、このときは「これだ」と思った。追い詰められた僕を、なんとかしてくれるのではないかと思ったのだ。数日後、カウンセリングの予約をした。

カウンセリング当日、何をどう話せばいいのかわからない僕は、黙ってしまった。沈黙が永遠に続くのではないかと感じていた時、カウンセラーが、こう問いかけてきた。「何かつらいことはある？」

“つらい” その言葉に、僕の心が激しく反応した。心に抱え込んできたモヤモヤやイライラ。それはつらいということだったのか。得体の知れないものに名前がついた。そんな感じがした。「僕はつらかったのか」やっと見つけた自分を表現することは、それがわかると、これまでの状況や、両親の対応、そしてその時々僕がどう感じていたのか、次々にことばとなってあふれてきた。カウンセラーは、その話を、ただただ聞いていた。アドバイスをもらったわけでもない。ただ、部屋を出たあとの僕は、肩の荷が下りたように感じていた。「相談するなんて負け」という感覚もなくなっていた。

僕は、30歳になった今、カウンセラーとして働いています。自分の経験から、誰かの気持ちを受け止められる人になりたいと思ったからです。中学生の時の僕のように“相談できない”子どもは少なくありません。「弱い部分を見せたら負け」「恥ずかしい」そんなふうに思っているようです。でも子どもたちには、相談してほしいと伝えたいです。どんなに小さな悩みでもいいんです。誰かに話をするだけで、気持ちを楽にしてほしいです。

NHK News Web から抜粋

上の文章は、6月30日（金）全校放送で伝えた内容です。東中の先生方は、一人一人の生徒を理解しようと気を配り、みなさんが困った時には力になりたいと思っています。ただ、「普通の中学生」を演じている姿からは、みなさんの悩みに気づくことは難しいです。悩みを自分で解決していくことは大切なことですが、心が悲鳴を上げ始める前に、信頼できる大人に相談してください。

さて、今年の夏休み、皆さんはどのように過ごす予定でしょうか。夏休みの間、どのように成長するかは自分次第です。目標や計画を立て、様々な体験をとおして自分を磨き、少し成長した姿で2学期を迎えてください。

保護者や地域の皆様には、今学期も本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。夏休み中も子どもたちの見守りをお願いいたします。

(校長 齋藤 真)

東中生の活躍

バレーボール部

6月25日(日)「8ブロック選手権大会(準決勝リーグ)」が行なわれました。

Bブロック 会場:あきる野西中学校

第1試合

	東中	vs	あきる野西中	
0	18	—	25	2
	9	—	25	
		—		

第2試合

	東中	vs	青梅泉中	
2	24	—	26	1
	25	—	16	
	25	—	19	

第3試合

	東中	vs	菅生中	
0	20	—	25	2
	10	—	25	
		—		

コートに立っているメンバーを、他の部員は応援で鼓舞しながらチーム全員で戦い抜きました。1勝2敗で準決勝リーグ敗退となりましたが、最後まで諦めずに戦う姿が立派でした。たくさんの応援ありがとうございます。これから2年生が中心となる新体制がスタートします。今後とも応援よろしくお願いします。

女子バスケットボール部

7月2日(日)「東京都中学校バスケットボール選手権大会 8ブロック予選大会」が行われました。

会場:福生二中 決勝戦

東中	vs	青梅二中
39	—	40

1点差と残念でしたが、よく戦いました。

7月23日(日)から都大会へ進みます。

たくさんの応援ありがとうございました。都大会頑張ってきます。

陸上部

7月8日(土)・9日(日)「第62回東京都中学校総合体育大会陸上競技大会 兼 第76回東京都中学校陸上競技選手権大会」が行われました。

男子1年100m

小山 朝陽	予選	12秒38
	準決勝	12秒55

男子1年走幅跳

小山 朝陽	予選	4m87
-------	----	------

男子共通110mH

高山 悠	予選	15秒97
------	----	-------

女子1年100m

堀越 里羽	予選	13秒87
	準決勝	13秒89

女子1年100m

大塚 菜奈	予選	14秒09
-------	----	-------

女子1年800m

藤原 こむぎ	予選	2分36秒50
--------	----	---------

女子2年100m

末宗 希菜	予選	13秒33
-------	----	-------

女子共通800m

原崎 由衣	予選	2分27秒70
-------	----	---------

女子共通1500m

原崎 由衣	予選	4分54秒74
	決勝	5分00秒17 第14位

女子共通砲丸投

内田 ひかり	予選	10m68
	決勝	11m22 第5位入賞

野球部

7月1日(土)「第8ブロック夏季大会(多摩大会予選)」が行われました。

東中・秋多中合同チーム	vs	増戸中
3	—	0

これにより7月末に行われる多摩大会本選への出場が決定しました。

ソフトテニス部

6月24日(土)・25日(日)「令和5年度第8ブロック中学校ソフトテニス選手権大会」が行われました。

女子団体の部 準優勝

男子団体の部 準優勝

これにより都大会に出場が決定しました。



技術研究部

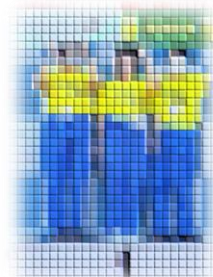
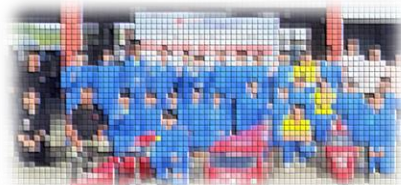
「もてぎ大会」

技術研究部は、6月3日(土)にHONDA エコマイレージチャレンジもてぎ大会に行ってきました。

3年生は4回目、2年生は3回目、1年生は初めての大会でした。今年は部員の人数も多く、部長として指示しまとめられるか心配でしたが、2、3年生は経験を元に協力し動いてくれ、1年生は分からないながらもみんな自分から動こうとしてくれ、作業が時間内に進みました。

記録に関しては、去年のようにはいきませんでした。女子のチームが一位をとれたので良かったと思いました。

大会を振り返ってみると直さないといけないところもありましたが、それは次の全国大会に向けて直していければいいと思います。(3-1 佐藤 海斗)



多摩特研球技大会 (バスケットボール大会)

6月23日(金)に多摩地区特別支援教育研究会球技大会(バスケットボール大会)が行われました。東中からは、学年混合で5チームが出場し、各リーグで2チームが優勝、1チームが準優勝、2チームが3位という結果となりました。練習から本番まで全員が努力を重ねただけでなく、何よりチームとして団結して戦った結果だと思います。この行事に向けての期間で一人一人が大きく成長することができました。今後も様々な場面で力を発揮していきましょう。



社会を明るくする運動

7月5日(水)の朝7時から8時まで東秋留駅周辺で「社会を明るくする運動」が行われました。本校生徒会本部役員と秋留台高校の生徒さん、そして保護司のみなさんとで、明るいあいさつをしながらウェットシートを配布しました。はじめはあいさつの声も小さく、なかなかウェットシートも受け取ってもらえませんでした。だんだんと大きな声を出せるようになりました。近所の方や高校に通学する途中の卒業生とも交流することができ、改めて温かな地域の中で暮らしていることを実感しました。



「社会を明るくする運動」とはすべての国民が、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くための全国的な運動です。犯罪や非行のない地域をつくるために、一人ひとりが考え、参加するきっかけをつくることを目指しています。東中学校では作文の募集も行っていますので、気になった人は是非参加してください。

上級学校講演会

校、国際製菓専門学校の3校の先生方に来ていただきました。講演中、3年生は集中してメモをとりながら話を聞くことができました。講演会の運営にあたり、進路系の生徒が中心となって頑張って動いてくれたこともあり、スムーズに進行することができました。3年生はそれぞれの上級学校の違いや特色、学校生活の様子などについて講演を通して学びました。今後の進路選択について、今まで以上に考える機会となりました。

学校閉庁日における緊急連絡について

令和5年8月14日（月）から令和5年8月18日（金）までの期間中は、学校閉庁期間となり直接の連絡が取りにくくなります。生徒に関わる重大事案など、この期間に緊急で学校と連絡を取る必要が生じた場合には、あきる野市役所の代表番号（042-558-1111）にお電話ください。休日・夜間の担当者から教育委員会の職員を通じて、校長等に連絡をいたします。

（あきる野市教育委員会教育部指導室）

7月18日(火)	SC 面談(1年1, 2組)	26日(水)	水泳補習(3年女子)
19日(水)	大掃除 給食終了	28日(金)	三者面談終了
20日(木)	終業式	31日(月)	水泳指導終了
21日(金)	夏休み開始 三者面談開始 水泳補習(3年女子)	8月14日(月)	学校閉庁日開始
25日(火)	水泳補習(3年女子)	18日(金)	学校閉庁日終了
		28日(月)	夏休み終了
		29日(火)	始業式